

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校

【取組内容①】 単元全体や一単位時間の見通しの持たせ方の工夫

【概要】

個別最適な学びを実現するためには、見通しをもって学習に取り組み、学んだ事を自己調整する力を身に付けることが大切です。本校では、Google Classroomを用いて単元の学習計画や一単位時間における学習の流れ、課題等を配信しています。

【使用するアプリ等】

Google Classroom、Googleドキュメント、Googleスプレッドシート

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

- 単元の最初の時間に学習計画表を基に、単元の目標を生徒と共有し、学習の流れを全体で確認します。
- 一単位時間の学習の内容は、送信予約機能を用いて事前に配信します。
- 学習計画表は学習進度に合わせて生徒が上書きをします。単元終了時に教師に提出を行います。
- 生徒は休み時間にタブレットを開き、学習内容を事前に把握する様子が見られるようになっています。
- クラウドを活用し学習計画表を生徒と共有したことで、教師はいつでも生徒の学習の様子を把握することができ、個別指導に生かすことができています。

【学習計画表】3年数学 第2章「平方根」

No	月日	学習目標	「分かったこと」、「大事なな」と思った考え方	「分らなかったこと」、「疑問に思ったこと」、「更に考えてみたいこと」など
1	6/2	2乗して2になる数は根号を使って表せることを理解する。	2乗して2になる数は $\sqrt{2}$ と表せる	特にありませんでした
2	6/5	平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。	ある数をxを2乗するとaになるとき、xをaの平方根という	25の平方根は5と-5だけ、 $\sqrt{25}$ を根号で表すに表すと、5と-5ではなく5だけなので気をつけたいです
3	6/6	平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。	平方根の大小を不等号で表すときは①全てを $\sqrt{\quad}$ で表す②近似値で表す③2乗して $\sqrt{\quad}$ を外す	平方根の大小を不等号で表すときの方法で、 $\sqrt{\quad}$ を外したり $\sqrt{\quad}$ を取ったりした時は答えに変形した数を書かないように気をつけたいです。
4	6/8	有理数、無理数の意味を理解し、これまで学んだ数を有理数と無理数に分類できる。	有理化とは分数で表すことができる数で無理数とは分数で表すことができない数	平方根の近似値は語呂合わせを使って覚えたいです。
5	6/9	【問題演習】基本の問題を解き、学習内容の定着の具合を確認する。	前に勉強したことが大体身につきました。平方根の問題では忘れてしまうので気をつけたいです。	特にありませんでした。
6	6/13	根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を理解する。	$\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{a \times b}$ $\sqrt{a} \div \sqrt{b} = \sqrt{a \div b}$ のb	$\sqrt{\quad}$ の除法でも約分を忘れないようにしたいです

単元の目標と単位時間の目標を提示



学習の流れをおおまかに提示

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校

【取組内容①】 教室と教室の外を接続し、学びの機会を提供する取組

【概要】

生徒にとって多様な学びの場を提供することが学校に求められています。本校では、生徒の要望に応じて教室と登校支援教室・家庭をオンラインで接続し、生徒の学びの保障に役立っています。

【使用するアプリ等】

Google Meet、ウェブ会議ソフト 等

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

- ・別室登校をした生徒やコロナ等で登校ができない生徒に、担当教師がオンライン配信による学習を希望するかを聞き取ります。
- ・家庭でオンライン配信を行う際は、開始時刻とミーティングIDをGoogle Classroomで伝えます。考査前など遅い時間での要望をいただくこともありますが、可能な限り対応しています。
- ・別室登校をしている生徒からは、「何を今学習しているのかがわかり、自分がしなければいけない課題が明確になるので嬉しい」との感想が寄せられています。
- ・別室登校をしている生徒は、①デジタル教材を利用して自分で学習する。②オンラインで授業を視聴する。③別室担当教師から学習支援を受ける。から自分でその日の学習方法を選択できるようにすることで、個別最適な学びにつながるようにしています。



別室の様子



教師のデジタル教科書を提示



リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校

【取組内容②】 総合的な学習の時間における「情報の収集」段階の充実

【概要】

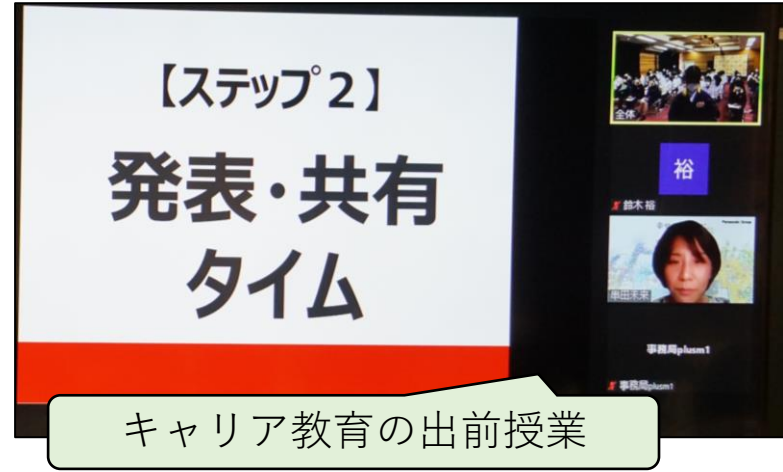
総合的な学習の時間では探究的な活動を充実させ、よりよく課題を解決していくための資質・能力を育成することが求められています。本校では、特に探究のプロセスにおける「情報の収集」段階において、外部の専門家によるオンライン授業を行っています。

【使用するアプリ等】

Google Meet、ウェブ会議ソフト、Google Forms、Pages 等

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

- ・1学年「防災学習」では、現地へ訪問調査に行く前にオンラインで語り部と接続し、災害についての事前学習を行います。
- ・現地調査では、震災遺構について実際に確認をし、事前学習で新たに疑問に思った事と合わせて質問をし、課題解決に取り組んでいます。
- ・2学年「キャリア教育」では、オンラインでの出前授業を行っています。
- ・生徒からの質問事項をGoogle Formsで専門家に事前にお知らせしたことにより、生徒が知りたいことが講義に反映されています。
- ・学習した内容は、Pages等のアプリでレポートとしてまとめ、Google ClassroomにPDF等で提出し、「まとめ・表現」に生かしています。



語り部とのオンライン学習

まとめ・表現のレポート例

リーディングDXスクール事業【実践事例】

岩沼市立岩沼北中学校

【取組内容④】 参集型研修とオンデマンド型研修の併用による職員研修の効率化

【概要】

教職員の働き方改革の視点から、職員研修には質の充実と並行して効率化が求められるようになりました。本校では、参集型による研修を最小限に留められるようGoogle Chatを活用しています。

【使用するアプリ等】

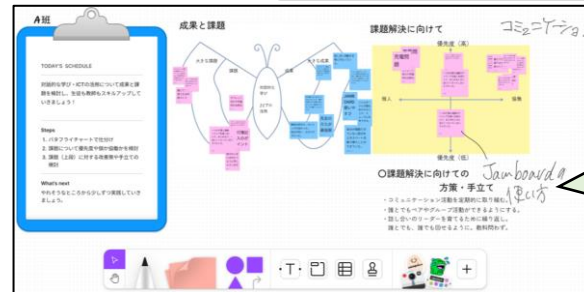
Google Chat、Google Forms、デジタルホワイトボードソフト 等

【活用の流れや工夫点、生徒の様子等】

- ・教職員にとって有益な情報を、Google Chatで配信します。
- ・配信する内容は主に知識の習得に関連する内容とし、視聴する動画は教職員の負担にならない視聴時間となるものを精選しています。
- ・参集型の研修を行う場合はGoogle Formsで事前に身に付けたいスキルを把握し、内容に応じて2～3のグループ編成を行って実施することで、個々の知りたいことに対応した研修が展開できるようにしています。
- ・授業検討会では、シンキングツールや最新のアプリを積極的に取り入れることで、操作スキルの向上と授業での活用を促します。
- ・Chatを活用し空いている時間に視聴できるようにすることで、教職員が時間を有効に活用できるように工夫しています。



2グループに分けて実施(GoogleWorkspaceの実践事例紹介とロイロノートの操作研修)



デジタルホワイトボードソフトを用いたグループ協議

月に1～2回程度の配信

